

2024 年度 協定校派遣留学生による成果報告
～2024 年 2 月～2024 年 7 月 上海杉達学院 留学～

経営学部流通マーケティング学科 桐山 小雪（留学時 3 年次）

留学の趣旨・目的について

協定校留学は、本学に在学しながら協定校大学の授業を受けることにより、本学における学修活動をより充実させるとともに、現地で集中的に外国語を学修し、さらに当該国・地域の文化、風習、習慣について日常的に触れ理解を深めることにより、より高度な国際感覚を身に着けることを目的とします。

- (1) 留 学 先：中国・上海杉達学院
- (2) 留学期間：2024 年 2 月 22 日～2024 年 7 月 12 日（約 5 カ月間）
（授業期間：2024 年 3 月 4 日～2024 年 6 月 28 日）
2024 年度第 1 学期
- (3) 学習内容： HSK のための中国語、発展及び実践中国語
- (4) スケジュール：

月～金曜

5:00	起床
5:30	準備
6:00～6:50	単語暗記
7:00	出発
7:00～7:30	朝ごはん(教室で)
7:30～8:00	先生と会話
8:00～11:10	授業
11:20～12:30	ランチ
12:30～13:30	散歩 or 買い物
14:00～18:00	課題 + α
18:00～19:00	夜ごはん
19:00～20:30	お風呂等
20:30～21:00	日記
21:30	就寝

土～日曜

5:00	起床
5:30	準備
6:00～6:50	単語暗記
7:00	朝ごはん
8:00	勉強
12:00～13:00	ランチ
13:00～14:00	買い物
14:00～18:00	勉強
18:00～19:00	夜ごはん
19:00～20:30	お風呂等
20:30～21:00	日記
21:30	就寝

(5) 留学費用： 支出費用総額約 80 万円（内訳：食費約 20 万円、家賃訳約 15 万円、日用品約 5 万円、外出や贅沢品代約 10 万円、ポケット Wi-Fi 代 10 万円、飛行機代等約 20 万円）

- ・私以外の学生で学食でおなかを壊す人はいませんでした。そのため、学食利用ができれば食費は 1 日 600 円くらいに収めることも可能です。
- ・ 1 人部屋だったので家賃は少し高めです。
- ・ 具体的な数字は書きませんでした、円安の影響も想像以上にありました。



【留学の動機】

日本人が中国に抱いている偏見は本当なのかどうか、実際に行くことで偏見をなくし視野を広げたいと考えたため留学をしました。また、地理は詳しくないですが、上海であれば中国の経済状態等が一番肌で感じやすいかなと思い、上海の大学を選びました。

【留学の内容】学校・現地学生・宿舎の雰囲気、学習の進め方など

タイ人の授業プログラムに参加したので、全員タイ人なので授業空間だけまるでタイにいるような感覚でした。授業は全て中国語で行われました。最初の方は、先生がジェスチャーを多く使ってくれたので、言ってることはなんとなく理解できましたが、音だけでは聞き取れませんでした。そのため、とにかくリスニングの勉強をしました。すると、2ヶ月後には先生の言葉が音だけで理解できるようになりました。

また、中国人学生と仲良くなろうと思い、日本語学科の先生に頼み紹介してもらったのですが、あまり仲良くなれませんでした。かなりシャイで多忙な中国人学生が多く、向こうから誘ってくれることはなく、私が誘っても忙しくて断られることがほとんどでした。しかし、その中でも忙しい合間を縫って会ってくれる子もいたため、月に一度ではありますがその子と日本語中国語を交えて話しながらご飯を食べに行ったり観光に行ったりしました。留学生寮は建て直したばかりでかなり快適でした。十分な広さがあり、5人で2つのトイレや1つのシャワーを使うため混み合うこともありませんでした。

最初は戸惑いも多く、せっかく留学来たんだからあちこち行かないと、たくさん人と話さないと、と焦っていましたが、4月に入ると落ち着きました。ただ私の場合、日本で生

の中国語を聞ける機会はあまりなかったので、先生と話す機会を増やしたり露店の店主や学食の方と頑張って話してみたりと自分のペースでネイティブの中国語に慣れることを目標に行動しました。

【研修成果】

当初の予定では、全体の能力をバランスよく上げて、日常的な会話をスムーズに話せるようになることが目標でした。ですが、実際に行くと全然聞き取れなかったため、リスニング一点強化に変更しました。毎日授業で先生が中国語を用いるため、耳に集中し、よく使われると感じたフレーズは音をノートに書き込み後調べたり、聞き取りに余裕が出てくると小声で先生の言葉を繰り返してみたりと、授業時間をリスニングの勉強にしました。その結果、日常会話ができると堂々と言えることはできないものの、お店の人と簡単な会話はできると言えるレベルになることができました。また、最後の方には自分の文法力に大きな問題があることに気が付きました。リーディングは得意でしたが、漢字に頼っていただけで文法力はないことに気づいていませんでした。留学でリスニング力が上がったからこそ、文法レベルの低さが露呈したのだと思います。この課題に気づけたことも留学による学習成果です。



【身についた力】(語学力等の学修成果以外に学んだこと)

今まで私が見えている世界に、私に合わないものは必要ないと考えるくらい自分中心の考えや世界の見方をしていました。ですが、留学に行き、「これは〇〇である」と決めつけていたものが間違っているという事実を突きつけられたり、自分には合わないと思っていたものが実は自分に合っていたと留学を通じて学んだりしたことで、少し視野が広がりました。留学前に視野を広げたいという考えは、自分の考えと相違があるのかどうか知りたいという意味だったのですが、留学を通じて自分に合わないと思ったものも取り込んでみるという意味で、もっと視野を広げる必要があると考えられるようになったのも成果の一つだと思います。

【滞在先について】

滞在形式: 学生寮

収納場所や机が広く、自室で学習しやすかった点が良かったです。中国ではトイレトーパーを流せない場所も多いのですが、部屋のトイレは流せた点も良かったです。

【将来の展望】帰国後に描いている展望(進路希望や、将来の夢等)

留学前は中国人の方が日本人よりも偏見が強いという前提の元、将来像を描いていました。しかし、その前提条件が崩れた今、具体的な目標は模索しているところです。現時点では、中国語から日本語に訳す翻訳者になりたいと思っています。ただまだぼんやりしているので、これからしっかり自分と向き合って考えていきます。

【海外生活中に困ったこと・悩んだことと、それらの解決方法について】

中国の水道水が飲めないもののため、胃と肌が弱い私は学食や食器を利用すると必ずお腹が痛くなり、お風呂を利用すると肌が荒れました。ですが、事前に知っていたため、日本から大量に持参した胃薬と、なるべく食器を使わないようにすることでなんとかしました。また、乾燥が強いので、飲料水を多く飲むことを心がけていました。

また、中国ではグーグル等のアプリが使えません。グーグルありきの生活だったので、留学当初はほとんどのアプリが使えませんでした。契約している日本の Wi-Fi も一日 500MB しかなかったため、最低限の連絡用でした。そのため、現地の日本語学科の先生や中国人学生に中国でも使えるアプリ等を教えてもらうことでなんとか乗り切りました。ただ、もしポケット Wi-Fi を契約していなかったら、親や日本の大学にも連絡できなかったし困ったことを検索できなかったので、ポケット Wi-Fi は絶対に持っていくべきだと強く思います。

【留学を考えている人へのメッセージ】

私は中国語を十分に話したり、聞きとることができませんでしたが、日本人ひとりの環境でも半年間なんとか生活できました。そして、留学前とは違った考えを持つようになったり言語レベルが飛躍的に伸びたりと、たくさんの成果を得ることができました。私はこの留学の経験から、まず一歩踏み出してみることが何よりも重要だと学びました。もし、言語を本気で学びたいと思っているならレベルに関係なくチャレンジしてみると、新しい発見が得られると思います。